

第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組状況（No.3）

重点取組	心の健康対策の推進
目標	住民誰もが安心して暮らしていける相談・支援体制を整備します。また、精神障害者が安心して自分らしく暮らせる地域づくりを推進します。
実施主体	医療機関、訪問看護ステーション、保健所、市町 等

市町

【鴻巣市】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	ひきこもりや精神科未受診の方のためのリーフレットを作成した。	実際に窓口で相談を受けた場合の対応や関係機関との連携について、ばらつきやまごつきが出てしまうことがある。	窓口等での相談を受けた際の困難事例について情報共有をしていく。
② 精神医療対策の充実	こころの相談を実施し、必要な方を医療機関へつなぐ 年19回実施	相談後のフォロー体制が、不十分。	こころの相談を年19回実施予定
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	鴻巣北本地域自立支援協議会において精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議体を令和3年度より設置することとした。	関係機関との支援体制の構築のために、様々な機関との協議や働きかけが必要。	本年度より設置した協議体において、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた話し合いを実施（年3回予定）
④ 認知症ケア	・市内に5名の認知症地域支援推進員を配置。 ・推進員による認知症相談等1,801件（うちオレンジダイヤル42件） ・認知症カフェの開催13回 ・若年性認知症本人のつどい開催2回 ・初期集中支援チームによる支援9件	認知症地域支援推進員が関わる段階で困難ケースとなっていることも多く、認知症の初期段階からの関わりができると、よりスムーズな支援につながる。	令和3年度より新たに開始となった認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業（チームオレンジ）により、認知症サポーターのボランティア活動を通して認知症の人や家族の支援に取り組む。

【上尾市】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	・こころの健康相談 7回16人 ・こころの悩み相談 17回24人 ・いのちのオンライン相談窓口33人		・こころの健康相談 12回 ・こころの悩み相談 30回 ・いのちのオンライン相談窓口 随時
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	上尾市主催精神障害者ピアサポート講座（全3回）新型コロナ感染拡大の影響により開催を中止	新型コロナ感染拡大の影響により、今後についても講座の実施が可能かどうかの課題あり	実施予定
④ 認知症ケア	(1) 認知症初期集中支援チーム 新規支援件数：4件 (2) 認知症サポーターステップアップ講座 コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (3) 「本人ミーティング」コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (4) 徘徊高齢者等探索サービス 令和2年度 利用者数：22人 探索依頼数：692件	(1) 相談件数が伸びない。チーム活動について普及啓発を図る必要がある。 (2) コロナウイルス感染症拡大防止のため集合型以外での開催も検討する必要がある。 (3) 若年性認知症の人の情報が少ない。認知症の人と家族の会等との連携が必要。 (4) 端末の所持忘れで探索できない可能性があるため、利用者に合った探索サービスを選択できるよう検討する必要がある。	(1) 初期集中支援チームの紹介を介護支援専門員研修会を通して実施。令和3年7月1日より市内ケアマネからの相談受付を開始し、相談窓口の拡大を実施。 (2) コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでの開催を検討。 (3) 本人ミーティング開催に向けて、若年性認知症カフェ等を訪問し、情報収集を検討。 (4) 引き続き、徘徊高齢者等在宅で介護する者に位置探索端末機を貸与し、身体的または精神的負担の軽減を図る。

【桶川市】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	基幹相談支援センターや近隣市町と合同で地域自立支援協議会を月1回開催し、地域課題への対応について意見交換を行う。	基幹相談支援センターを開設し、困難事例が発生した際に相談しやすい流れを構築する。	令和2年度の取り組みと同様。
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	A:退院後速やかに介護サービスを使う必要がある場合、入院中に介護認定調査を受けるようにする等、病院の相談員から提案がある。入院中の主治医より退院後のかかりつけ医に情報提供がなされ、在宅に戻っても、医療・介護のサービスを切れ目なく利用できる仕組みが出来ている。認知症型デイサービスや小規模デイ等、認知症の人が通いやすい通所介護サービスも、市内に複数ある。 B: 地域包括ケアシステムの市町協議の場開設に向けて基幹相談支援センターの開設。	B: 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域課題やニーズの把握。	A: 令和2年度の取り組みと同様。 B: 基幹相談支援センターを中心に、地域包括ケアシステムの構築に向けて月1回の会議の開催。地域医療機関へのヒアリングを行い、意見交換を行う。

④ 認知症ケア	<p>A：認知症の基本的知識や認知症の人への対応の仕方などを学び、職場や地域で認知症の人や家族を見守る応援者となる認知症サポーター養成講座を実施。 実施回数：19回 養成者数：348人</p> <p>B：徘徊者見守りステッカー交付事業（ステッカーを配布し、利用者情報を警察・消防に提供） 44名</p> <p>C：徘徊高齢者等家族支援サービス事業（GPS機能付機器の貸出し） 18名</p> <p>D：認知症初期集中支援チーム 認知症の人とその家族を支援するため、認知症サポート医、医療職及び介護職がチームとなって、認知症が疑われる人への早期診断、認知症の人への適切な医療・介護サービスにつなぐ支援等を実施。支援件数13件 脳の健康度検診（認知症検診。70及び75歳の市民対象）を受診して「要精検」となった人へのフォローも担当。対象者12名</p> <p>E：おれんじカフェ（認知症カフェ）の開催 認知症の人や家族、地域の人が集い、認知症の人と触れ合って病気の理解を深めたり、認知症介護の情報交換が出来る場 8か所</p> <p>F：認知症ケア相談室 （令和2年6月より開始事業） 在宅で認知症の人を介護している家族に対し、認知症ケアの具体的な方法の相談を受ける。 21件</p>	<p>A：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月まで開催中止。小規模で感染対策を取りながら再開した。</p> <p>D：コロナ禍で訪問できず電話でのフォローとなったが、電話には出ない高齢者が多かった。</p> <p>E：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止中。</p>	<p>A：新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、令和2年度を参考に実施する。</p> <p>B：令和2年度の実績と同様。</p> <p>C：令和2年度の実績と同様。</p> <p>D：新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、令和2年度を参考に実施する。</p> <p>E：新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、令和2年度を参考に実施する。</p> <p>F：令和2年度の実績と同様。</p>
---------	--	---	--

【北本市】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健相談（随時）86人 こころの相談5回 5人 暮らしとこころの総合相談 2回 6人 障害福祉に関する相談（随時） 相談支援事業の実施 生活支援センター夢の実、生活支援センターしゃろーむ北本、相談支援事業所あすなろに業務委託。精神障がい者からの相談実績：150人（実人数）。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談先に関する周知 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい福祉に関する相談（随時） 相談支援事業の実施（委託）
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場の設置に向けた協議を実施。 		令和3年度に精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場を自立支援協議会の下部組織に位置づけ、令和3年度は全3回開催予定
④ 認知症ケア	地域包括支援センターの主催、運営により、オレんじサロン&介護者サロンきたもとを11月と12月に2回開催。	<ul style="list-style-type: none"> 参加者が利用しやすいよう、開催場所、開催頻度等、検討をする。 	年間10回開催。

【伊奈町】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	対象者に対する訪問巡回指導の実施 対象者3名 訪問回数 延べ24回	対象者、家族、医療機関、訪問看護担当者とのきめ細やかな情報連携	対象者に対する訪問巡回指導の実施
② 精神医療対策の充実	「こころの健康相談」月1回 カウンセラーによる面談 延べ11名	本人の状態に応じた専門施設との連携	「こころの健康相談」月1回実施
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	町福祉課・社会福祉協議会等で対象者に対する支援や相談等を実施	本人の状態に応じた専門施設との連携。また相談の専門員の配置・人材育成	前年度に引き続き町福祉課・社会福祉協議会等で対象者に対する支援や相談等を実施
④ 認知症ケア	本人及び介護家族等の支援のため、新規に「いな見守りONE TEAM事業」を開始・運営	圏域への事業周知	前年度に引き続き事業周知を行い、事業対象者の検出及び協力者の増加を図る。

医師会

【上尾市医師会】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
② 精神医療対策の充実	医師の派遣 心の健康講座 1回実施 精神科医による心の健康相談 7回実施	講座参加者の増大	医師の派遣 心の健康講座 1回実施予定 精神科医による心の健康相談 10回実施予定
④ 認知症ケア	認知症初期集中支援チーム業務委託受託 ・医療機関名：藤村病院 新規支援件数：4件	相談件数が伸びない。チーム活動について普及啓発を図る必要がある。	認知症初期集中支援チーム業務委託受託 ・医療機関名：藤村病院

歯科医師会

【北足立歯科医師会】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
④ 認知症ケア	・桶川市脳げんき教室へ歯科衛生士派遣 ・埼玉主催 認知症研修会 令和2年12月13日 2名参加	歯科医師会会員、県民への周知・啓発をさらに 図る必要がある	・桶川市脳げんき教室へ歯科衛生士派遣 ・認知症研修会受講予定

薬剤師会

【上尾伊奈地域薬剤師会】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実			市・町における入退院支援ルール作成への委員 として参画
④ 認知症ケア	・認知症初期集中支援チーム検討委員会への委員参加 2月4日WEB ・薬剤師認知症対応向上研修会 WEB	・認知症ケアチーム連携体制の強化 ・認知症の人に対応できる薬剤師の育成、増加を図る。	薬剤師認知症対応向上研修会 7月18日WEB

【北本市薬剤師会】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実			退院時カンファスの依頼があれば参加希望有

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和2年度		令和3年度取組計画
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	面接 実 57人 延 74人 訪問 実 127人 延 246人 電話 実 387人 延 1501人	本人、家族が地域で安心して生活できるよう関係機関との連携により相談体制の充実を図る必要がある。	随時、住民や関係機関からの相談に対応し、必要に応じて電話、面接、訪問による継続支援を行う。
② 精神医療対策の充実	精神障害者支援地域協議会（調整会議） 60回 延 254人 ※「精神障害者支援地域協議会（代表者会議）」 「地域支援体制構築会議」は、新型コロナウイルス感染拡大のため実施せず	必要時に適切な医療を円滑に利用できるよう、日頃から保健・医療等の関係機関同士の関係づくりが重要である。	精神障害者支援地域協議会（代表者会議） 1回 精神障害者支援地域協議会（調整会議） 随時 地域支援体制構築会議 1回
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	精神障害者支援地域協議会（調整会議） 60回 延 254人 ※「精神障害者支援地域協議会（代表者会議）」 「地域支援体制構築会議」「地域包括ケアシステム構築推進研修会」は、新型コロナウイルス感染拡大のため実施せず	・措置入院者が入院を繰り返すことなく地域生活が送れるよう、退院後、継続的に医療や在宅ケア等の必要な支援を受けられることが重要である。 ・精神障害者を地域で支える仕組みを構築するために関係機関との継続的な協議が必要である。	精神障害者支援地域協議会（代表者会議） 1回 精神障害者支援地域協議会（調整会議） 随時 地域支援体制構築会議 1回 地域包括ケアシステム構築推進研修会 1回
④ 認知症ケア	鴻巣市認知症初期集中支援チーム参加 1回 ※認知症医療連携協議会（認知症疾患医療センター）上尾市及び知症初期集中支援チーム検討委員会は新型コロナウイルス感染拡大のため欠席	認知症があっても地域で安心・安全に生活できるよう、関係機関の連携により支援体制の充実を図る必要がある。	認知症医療連携協議会（認知症疾患医療センター） 上尾市及び鴻巣市認知症初期集中支援チーム検討委員会への参加